

自治会だより

発行／元村中央自治会
編集／自治会総務部

年頭のあいさつ

新年明けましておめでとうござ
います。

新しい年を迎え、会員及びご家
族の皆様におかれましては、益々
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響は、昨年
5月に2類から5類へ移行したものの、流行
は収まったわけではなく、ピークアウトの兆
しも見えない中、インフルエンザと同時流行
の状況にあります。

一方、昨年の夏は異常気象により、これま
でに経験したことのないくらい暑い夏でし
た。

また、全国各地での台風や線状降水帯、記
録的短時間大雨などによる、豪雨被害、また
秋田市内、岩手県北でも大雨被害が確認され
ております。

年最初の1日には、震度7の能登半島地震
が発生し、建物倒壊や火災が相次ぎ、多数の
犠牲者が出ております。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りする
とともに、被災者の皆様に心からお見舞い申
し上げます。

私たちの地域は比較的、大きな災害は無い
という認識でしたが、このようにいつ、どこ
で、何が起こるか判らないような最近の状況

です。ので、あらためて、以前各
家庭にお配りした「防災マッ
プ」を参考にさせて頂き、災害時
における家族との連絡方法や避
難場所など、確認して頂きます
ようお願いいたします。

自治会といたしましても、子
どもからお年寄りまで地域の皆
さんが、楽しく生き生きとした
そして安全で安心な生活が送れ
るような地域を目指して取り組
んで参りますので、皆様方のご
支援ご協力をよろしくお願い
いたします。

本年も皆様方にとりまして、
健康で幸せ多い1年となります
ことを祈念し、新年のご挨拶と
致します。



会 長 百目木 忠志



研修旅行を開催

11月5日(日)、4年ぶりに自治会研修旅行を開催しました。今回は31名が参加して大型バス1台で午前8時30分、滝沢ふるさと交流館を出発しました。

当日は天気にも恵まれ、絶好の旅行日和となり、皆さんにとって楽しい親睦の集いとなりました。

今回の研修旅行は東北自動車道と八戸道を北上し、道の駅オドデ館で休憩をとった後、久慈溪流の紅葉を見ながら久慈に到着、道の駅北三陸と久慈地下水族館モグラピアを見学した後、



久慈グランドホテルで、食事とカラオケで懇親を深めた後、道の駅やませ土風館で買い物や久慈秋まつりの豪華な山車を見学して、帰路につきました。

午後5時20分ごろ、無事ふるさと交流館に到着し、全日程を終了しました。

四年ぶりに

「防災訓練」を実施

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの実施となりましたが、自主防災会による防災訓練を11月19日(日)午前8時より、「株ミク二盛岡事業所内駐車場」で行いました。

地震などの大災害時における地域の防災力を強化するため、今年度は「石が森・もりおか団地・平蔵沢の一部地区」を対象として、災害情報の伝達、避難誘導訓練、救護訓練、初期消火訓練を中心として実施しました。

7時には役員等関係者が集まり、災害対策本部等を設置、百目木本部長の挨拶ののち、事務局より訓練概要の説明、七時三十分には事前の巡回広報車がスタート、午前8時には防災無線により地震発生状況と避難命令



が発令されました。各班ごとに「株ミク二盛岡事業所内駐車場」に避難し、班長は被害状況と避難人員を地区担当理事に報告して、本部で全体の状況を集約いたしました。

次にAEDを活用した心臓マッサージと心肺蘇生の実演を消防署員に指導していただき、その後初期消火訓練として水消火器による消火、更に119番通報の仕方についての説明をいただきました。

最後に、各々の訓練について、今後の改善点などの講評を指導員からいただき、自治会長の終了宣言で全日程を終了いたしました。

当日は市役所から防災防犯課の若生主任主査ほか2名、滝沢消防署木村総務係長ほか1名、第5分団から小笠原分団長を含め5名のご出席をいただき、また自主防災会も役員等関係者30名、一般住民参加者が54名ほどで総勢84名の参加がありました。



今後も残された地域での訓練の実施と防災関連機材の充実等、備えあれば憂いなしの精神で地域の住民が災害に備え、安心して生活できるよう取り組んで参りますので、より一層のご協力をお願いいたします。